

1 G30の推進について

(1) 平成20年度(4月～2月)ごみ量の状況について

平成20年4月から平成21年2月までのごみ量は約87万4千トンで、平成13年度と比べ、40.9%減少(▲60万5千トン)しています。

なお、燃やすごみについては、35.0%減少(▲29万トン)し、事業系ごみについては、50.9%減少(▲31万5千トン)しています。

また、市民ひとり一日あたりの燃やすごみ量(原単位)は、38.3%減少しています。

(1) 平成20年度(4月～2月)のごみ量

【単位:トン】

		市全体							
		対13年度		対13年度		燃やすごみ 対13年度		対13年度	
		13年度実績	20年度実績	13年度実績	20年度実績	13年度実績	20年度実績	13年度実績	20年度実績
4月～2月	13年度実績	1,478,131	/	858,684	/	827,621	/	619,447	/
	20年度実績	873,560	-604,571 -40.9%	569,560	-289,124 -33.7%	538,090	-289,531 -35.0%	304,000	-315,447 -50.9%
年間	13年度実績	1,609,155	/	934,761	/	900,826	/	674,394	/
	20年度目標	987,000	-622,155 -38.7%	628,500	-306,261 -32.8%	596,800	-304,026 -33.7%	358,500	-315,894 -46.8%

※「家庭系ごみ」とは、燃やすごみと、粗大ごみ及び資源物として回収したもののうち、資源化できなかったものと、不法投棄等その他のごみの量を足したものです。

※20年度実績は速報値であり、10トン未満を四捨五入しています。

(2) 平成20年度(4月～2月)の燃やすごみ量・原単位・人口

	13年度 4月～2月	20年度 4月～2月	増減量 (対H13年度)	増減率 (対H13年度)
燃やすごみ量(トン)	827,621	538,090	-289,531	-35.0%
原単位(g/(人・日))	716	442	-274	-38.3%
人口(千人)	3,462	3,649	187	5.4%

※「原単位」とは、市民ひとり一日あたりの燃やすごみの量です。

※「燃やすごみ量」は、4月～2月の燃やすごみの量を累計した値です。

※「人口」は、4月～2月の各月の人口を平均した値です。

(2) 家庭ごみ収集運搬・業務委託について

1 委託の方向性

- (1) 従来の行政区別の委託では、民間業者の負担が重く参入しにくい、という問題点がありましたので、今後は、行政区別かつ品目別に委託することで民間業者の参入を容易にし、民間業者の育成も図りながら、委託を拡大していきます。
- (2) 効率的に収集でき、民間活力が発揮されやすいプラスチック製容器包装と缶・びん・ペットボトルの収集について民間に委託します。
- (3) 燃やすごみの収集については、更なるごみの減量化・資源化の推進、安定的で確実な収集の確保、災害時の危機管理の観点から、本市職員が行います。
- (4) この考え方にに基づき、現在委託している西区、中区、栄区の3区についても、燃やすごみは本市職員が収集することとします。

2 委託の進め方

まず、プラスチック製容器包装の委託拡大を優先して進めます。更に、缶・びん・ペットボトルの委託を進めながら、3区について品目別委託に切り替えます。

委託年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
プラスチック製容器包装							7区委託 拡大 18区委託
缶・びん・ペットボトル							18区委託
西区・中区・栄区	西区(4月)						(プラ、缶・びん・ペット委託) 燃やすごみは、本市職員が収集
		中区(4月)					
			※全品目委託	栄区(5月)			

3 経費削減効果

- (1) 16年度から20年度までの累計

22億2千万円

- (2) 21年度

12億円 (西区・中区・栄区の委託と7区のプラスチック製容器包装の収集委託分)